第118回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成27年5月11日提出）

１．題　目：長崎大学新任教職員ガイダンス（ウェルカムＦＤ・ＳＤ）

２．日　時：平成27年4月2日（木）13:00～15:00　および4月3日（金）13:00～17:15

３．場　所：長崎大学（文教キャンパス、坂本キャンパス、片淵キャンパス）

４．主　催：教務委員会
　企画・運営：評価・FD教育改善専門部会、大学教育イノベーションセンター
　協　力：経済学部、医歯薬学総合研究科、医学ミュージアム、附属図書館

５．対　象：平成26年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）
　[　　]⑴　教員の教育活動に関するもの
　[　　]⑵　カリキュラムの改善に関するもの
　[　　]⑶　教育の組織的改善に関するもの
　[　　]⑷　入学者選抜方法の改善に関するもの
　[　○　]⑸　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義
⑴ 長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ること。
⑵ 長崎大学にかかわる歴史を知ることにより、大学への理解を深めること。

８．プログラム構成［題目・担当講師］

4月2日（木）

第Ⅰ部　「長崎大学が目指すもの」
　長崎大学に関する基礎知識および国立大学法人としての戦略等について紹介がなされた。

12:45～13:00	受　付（事務局3階 第2会議室）	
13:00～13:15	ウォームアップ	
13:15～13:20	開会の挨拶	松坂　誠應　理事（教学担当）
13:20～14:20	「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」	片峰　茂　学長
14:20～14:30	「ガバナンス体制及び情報管理について」	河野　茂　理事（総務担当）
14:30～14:50	質疑応答	
14:50～14:55	閉会の挨拶と翌日の案内	橋爪　真弘　教授（熱帯医学研究所） 山地　弘起　教授 （大学教育イノベーションセンター）
14:55～15:00	集合写真撮影	

4月3日（金）

第Ⅱ部　「長崎大学歴史散歩－150年をふりかえる」

2班に分かれ、長崎大学の歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行った。参加者の皆と共に歩く中で、長崎大学の各キャンパスに残る歴史の流れを感じていただいた。

12:45～13:00　受　付（事務局3階 第2会議室）
13:00～13:05　開会の挨拶　　松坂誠應　理事（教学担当）
13:05～13:15　移動
13:15～14:15　文教キャンパス歴史散歩

【文教キャンパス：原爆の惨禍の跡と新制総合大学60年の象徴】
（1）三菱長崎兵器製作所の碑：文教キャンパス誕生の意味　　【松坂誠應理事・山地弘起教授・
（2）長崎師範学校原爆慰霊碑：学徒動員の中での犠牲　　川越明日香助教（大学教育イノベー
（3）中部講堂：水産県・長崎の拠点大学としての期待を込めた寄付建物　　ションセンター）】
（4）「若人」の像：　生死の瀬戸際でも人間性を失わない強靭さを願って
（5）環境科学部正門側（旧教養部建物）：時計塔と大壁画／長崎大学と学生運動・教養教育
（6）教養教育棟A12教室：アクティブ・ラーニング仕様の教室
（7）①下村脩名誉博士顕彰記念館（薬学部）
　　②お薬の歴史資料館（薬学部）　　【岸川直哉准教授（医歯薬学総合研究科（薬））】
（休憩５分）

14:15～14:30　バス乗車（中部講堂前）・バス移動

14:30～15:35　坂本キャンパス歴史散歩

【坂本キャンパス：生命科学の拠点であり続ける理由～150年の経験】
(1)　近代医学史料展示室　　【志波原智美主査（学術情報部）】
(2)　熱帯医学ミュージアム（医学ミュージアム）　　【堀尾政博教授（熱帯医学研究所）】
(3)　原爆医学資料展示室（医学ミュージアム）　　【三根眞理子客員教授（原爆後障害医療研究所）】
（休憩５分）

15:35～16:05　バス乗車・バス移動

バスルート：松坂誠應　理事（教学担当）
坂本キャンパス→浦上駅前→長崎駅前→国道499号線（五島町電停付近から左折）→長崎市立図書館（旧・新興善小学校：被爆時の長崎医科大学附属病院仮施設）→長崎県庁（医学伝習所発祥地）→築町→賑橋→公会堂前→諏訪神社前→片淵キャンパス

16:05～17:10　片淵キャンパス歴史散歩

【片淵キャンパス：キャンパスが語る一世紀の伝統】
(1)拱橋（こまねきばし）：100年間学生が通い続けた石畳
(2)長崎高商門標：「第三高商」の誇り高い伝統の原点
(3)瓊林会館・赤レンガ倉庫：
　原爆被災を免れた貴重な長崎大学の歴史的建物。同窓会の強い結束
(4)特別講演：「高商100年と武藤文庫」
　　【深浦厚之教授（経済学部）】
(5)武藤文庫展示室（附属図書館経済学部分館）　　【宮脇千幸主査（学術情報部）】

17:10～17:15　閉会の挨拶　　山地弘起　教授（大学教育イノベーションセンター）

９．参加者

第Ⅰ部「長崎大学が目指すもの」60 名（新規採用事務職員 22 名含む）

第Ⅱ部「長崎大学歴史散歩ー150 年をふりかえる」22 名

（内　訳）

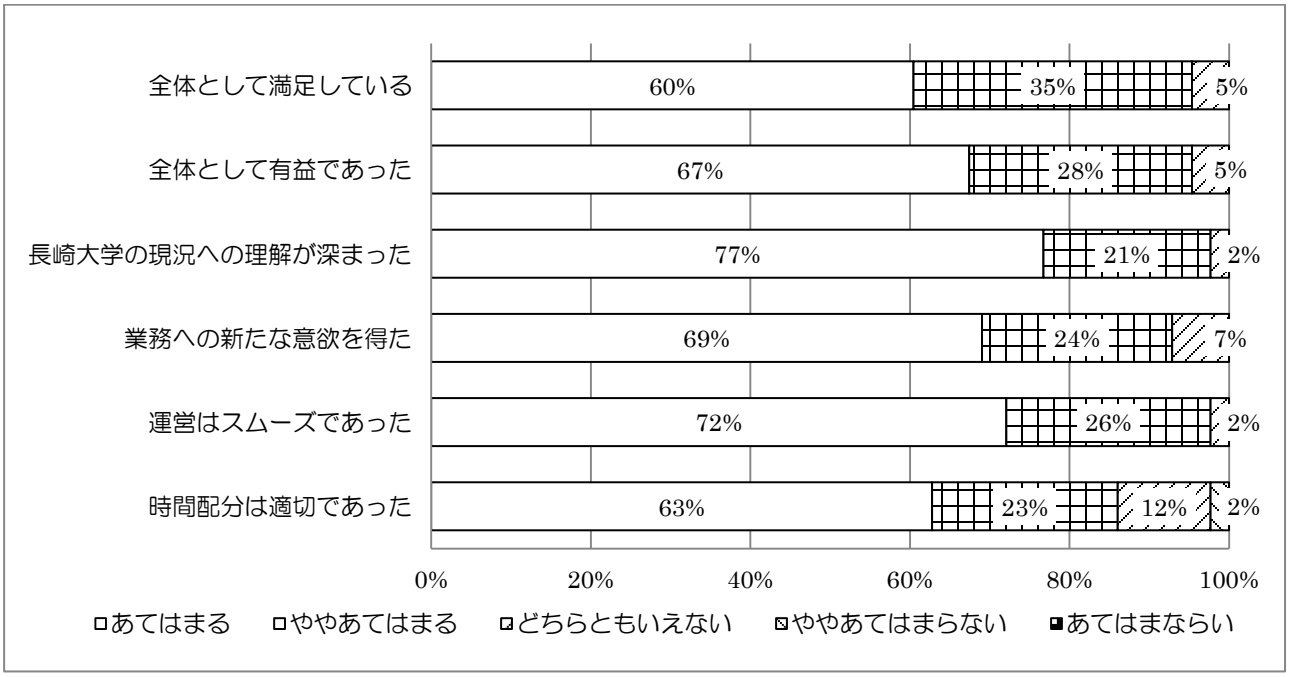
所　　属	第一部	第二部
教育学部	4	2
経済学部	4	3
医歯薬学総合研究科	1	0
医歯薬学総合研究科（医系）	2	2
医歯薬学総合研究科（保系）	2	2
医歯薬学総合研究科（歯系）	2	1
工学研究科	4	0
水産・環境科学総合研究科（環境）	3	2
水産・環境科学総合研究科（水産）	1	0
多文化社会学部	1	0
病院	3	0
大学教育イノベーションセンター	2	2
男女共同参画推進センター	2	2
事務職員	29(22)	6
計	60	22

※内数：新採用事務職員

１０．実施したＦＤの成果等

（１）参加者からの評価

(第Ⅰ部)



（回答者：43 名）

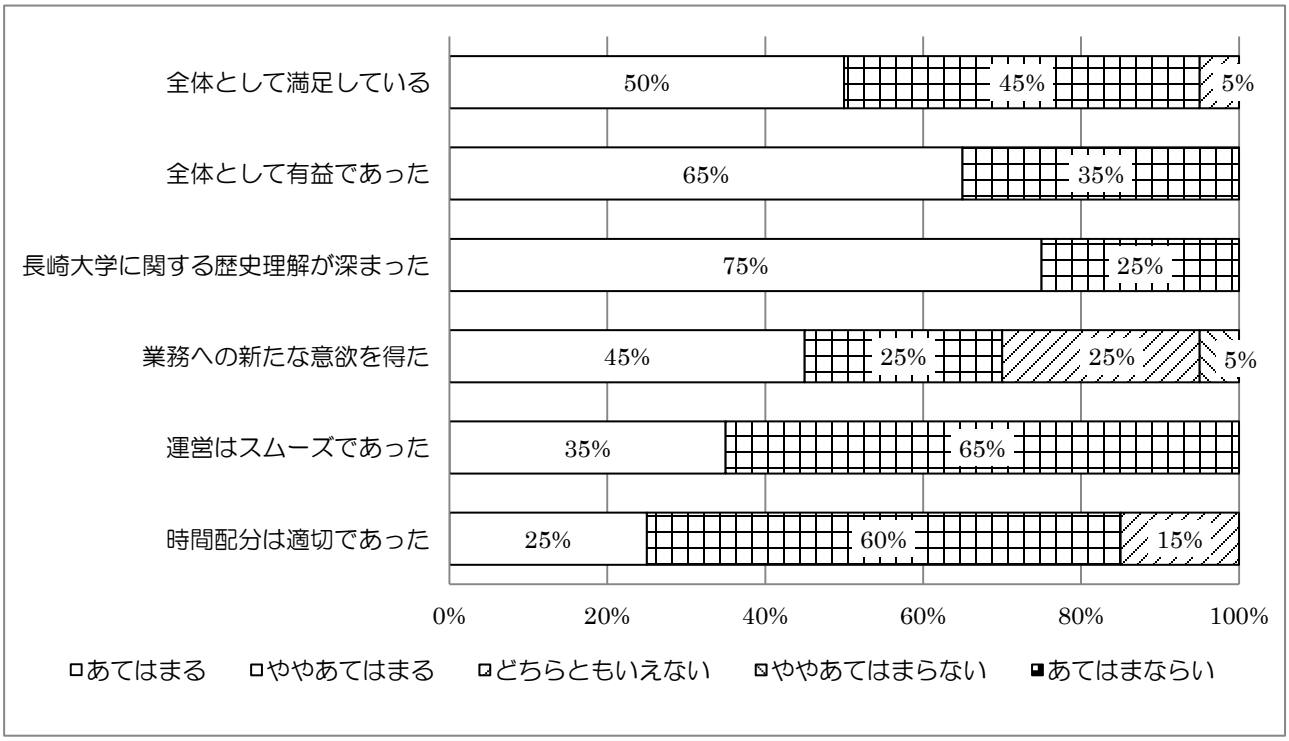
● 本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入下さい。

- 学長の熱意を感じることができました。
- 学長と理事と進行の方々のお話がわかりやすく、長崎大学の一員として動き出していることが実感できるものでした。
- 採用されてからすでに10か月ほど経っていますが、大学をとりまく状況を改めてふかんすることができて有意義でした。特に学長のお話の中で印象に残ったことは、地方創生のために大学が果たすべき役割に課題が多いこと、大学の機能強化の方向性としては「地域活性化・特定分野の重点支援を行う大学」であるが、これにより学生からイメージが固定化するおそれがあることなどです。日々の業務に関する情報はもちろんですが、大学をとりまく環境への関心を常に持っておくことが重要であることを改めて感じました。
- 長崎のことは全く知らなかったため、とても勉強になりました。
- 初めて学長先生のお話を聞けて感動しましたし、目を見つめられてお話し下さってものすごくありがたかったです。職員として未熟ではありますがこれからの長大と学長先生のビジョンに少しでもお役に立てるよう頑張ります。
- 学長の明確なビジョンとリーダーシップの強さを感じた。極めて有意義であったと思う。
- 教育・研究そして社会貢献の重要性を再認識した。
- 長崎大学を盛りあげていこうという強い意欲を感じました。これから自分もその教員の一人として、周囲の方々と協力して研究および未来の社会を支える人材を育てていければ幸いです。
- 学長のリーダーシップが伝わった。
- 自分の職場の中で日々業務をこなしており、長崎大学という大きなわくの中で考えたことがなかったので良い経験になりました。
- 本日参加して長崎大の現状の理解と方向性が深まった。
- スライドの情報量が多かった。でもポイントはわかった。
- 長大の理念がよく理解できました。ありがとうございました。最初のウォームアップもユニークで楽しかったです。
- 大変参考になりました。学長の話もすばらしかったですが、特にウォームアップはよかったです。
- ウォームアップは楽しかった。
- 学長のお話が私にとって非常に興味深く、私なりに理解できました。卒業生としても、職員としても感銘を受けました。
- 学長のわかりやすい説明と、これからの目標に向けての計画に少しでも力になれるよう励みたいと感じました。又、河野理事の内容も身近な所から意識するよう自身の研磨につながる激を頂き、日々精進したいと思います。
- 科研費は熱意だけでとれるでしょうか？
- 大学全体の向かう方向に関しての理解はできたが、部局レベルで同じ方向に向かっているかは疑問に感じている。

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。

- とても勉強になります。ありがとうございます。
- 話の内容は勉強になったが、明日からの自分の仕事にどうフィードバックしていけば良いのか難しいと感じた。もっと身近で具体的な話を聞けたらモチベーションもあがると思います。
- 第Ⅰ部/第Ⅱ部を同日に実施してもらえるとより参加しやすいと思います。
- お話をされている方によって、マイクの音量を調節したほうが良いと思います。
- ３分間で近くの方々との交流を持ち３つ共通点を見つけなければならなかったのですが、もう少し時間があれば良かったなぁと思いましたし、事前に名刺やちょっとしたプロフィールカードのような物を交換しあった上でなら共通点を見つけやすかったかもしれません。
- 途中で学期制からクオーター制への移行の話があったが、実際に行われるのがいつからかわからなかったのと、移行期間の配慮がなされているのか不安だった。

（第Ⅱ部）



（回答者：20 名）

● 本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入下さい。

- 非常に丁寧な説明をして頂き感謝しております。
- 長崎大学の歴史理解は充分に深まったと思う。特に松坂理事の長崎案内は見事でした。ありがとうございました。
- とても満足しました。普段はなかなか行けないキャンパスに行ったり長崎大学の歴史も知ることができ、とても有意義でした。
- 長崎大学について、知らなかった事を知ることができて楽しい時間を過ごせました。
- 関東からの赴任でしたので、長崎のことも、長大のことも分からず、なかなか足を運ぶ機会のない他キャンパスまで案内いただき、長大を知るうえでとてもよい機会となりました。ぜひ、来年度以降も続けて下さい。
- 長崎大学のことがよくわかり大変有益でした。バスの中での松坂先生のお話などアットホームで楽しい研修でした。
- また改めてじっくり見てまわりたいと思いました。
- 雨と風で外を歩けず残念でしたが、自分で行ってみたいところがいくつかありました。ありがとうございました。
- 天気が良ければもっと楽しかったと思うが、とても有意義な時間でした。
- 大学の歴史を学ぶことができ、一員としてがんばっていこうと思いました。天気が残念でなりません。
- バスの車内での話はおもしろく勉強になりました。ありがとうございました。
- 普段勤務しているキャンパスの施設でも、改めて説明をきき、とても興味深かったです。特に熱研の堀尾先生、医歯薬分館の志波原先生、原研の三根先生のお話は、もっときかせていただきたいぐらいでした。
- 長崎大学の歴史理解が深まりました。お天気が良く、散策できたらもっと深い理解ができたのではないかと思います。とても良い時間がすごせました。ありがとうございました。
- 観光では気付かない職員ならではのご説明もいただき、またなごやかな場にしていただき、大変感謝しております。

- 雨の中の移動は大変でしたが、勉強になりました。天気の良い時に今回のコースをめぐりたいと思いました。
- 文庫などこれまで大学にいても知ることのできないことが知れてよかった。雨でなければよかった。
- 上記４番の項目（業務への新たな意欲を得た）が２であったのは自分の所属学部の話がほとんどなかったためです。歴史を知ると学部ごとに異なるルーツがあり、現在もそれをまだ引きずっている印象を持ちました。（大学としてのまとまりが弱いというか、キャンパスも異なりますし）
- ４時間以上もかかったので長いツアーだったなあと思いました。雨でちょっと大変でしたが、熱研はとてもおもしろかったです。途中でトイレ休けいの時間があればもっと良かったなぁと思います。文教キャンパスでの学食にも行ってみたかったし、キャンパス内のもっとくわしい地図があれば助かります。時間があれば、自分で今日のルートや各キャンパスや展示室に行ってみたいです。松坂先生のバスガイドが大変おもしろく、もっとお話を聞きたかったです。

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。

- 荒天の中、大変ご苦労様でした。おかげ様で充実した研修になりました。お世話になった方々に感謝申し上げます。
- スタッフの皆様ありがとうございました。大変な企画かと思いますが、今後も続けていただきますようお願いします。
- 雨で運営が大変だったと思います。お世話になりました。
- いろいろと変更があって大変だったと思います。とくに改善点はありません。
- 長崎とは縁も無かったので、色々と勉強になりました。ありがとうございました。
- 風雨の強い中移動するのは大変でしたので、何か改善できればと思います。
- 雨対策は必要です。
- おやつタイムはとても良いアイデアだと思います。トイレ時間をきちんと時間を取ってもらえたら助かります。地図の中に事務棟の中に何課が入っているかなどもあったら助かります。
- 最初のペットボトルの水を今日は持ち忘れてしまいました。午前中に終わるくらいの時間内で、できないでしょうか？午後をいっぱいの時間は少し長すぎると感じました。

（2）総　括

（第Ⅰ部）

アンケートの結果では好意的な意見が多く、学長による新任教職員へのメッセージ（長崎大学の課題と展望）が効果的に伝わっていることが、はっきりと読み取れる。学長の明確なビジョンとリーダーシップの強さ、熱意を感じることができたという率直な感想から、長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得るという本ＦＤの主旨はさることながら、長崎大学の一員としての共通認識を持って意欲喚起に繋がったのではないか。アンケートの全項目で昨年度を上回っており、昨年度の反省が生かされた結果かもしれない。また、冒頭１５分間のウォームアップに対する好意的な意見もある通り、リラックスした場の雰囲気作りも、高い満足度につながったと考えられる。

昨年は、日本語を解さない外国人教員への配慮が問題として挙げられたが、今年は該当する教員がいなかったためか、特に対策は取られていなかった。日本語のみなので出席しても仕方がないという認識が広がることのないよう、日本語を解さない外国人教員への配慮は引き続き検討課題であろう。

（文責：橋爪 真弘）

（第Ⅱ部）

あいにくの雨であったために、文教地区と片淵地区は急遽予定を変更してのキャンパスツアーとなった。文教地区については、薬学部（下村記念館およびお薬の歴史資料館）とアクティブラーニング教室（A-12）のみを見学し、その他は第２会議室でのプレゼンテーションとした。坂本地区については屋外の見学はないことから予定通り進め、最後の片淵地区においては深浦教授に室内でのプレゼンテーションをお願いした。直前の予定変更にも拘わらず、滞りなく対応して下さった教職員の方々に感謝したい。

参加者のフィードバックからは、時間をもう少し短く、といった記述が散見される。これは少数ながら毎年出てくる要望だが、一方で３つのキャンパスを回り、本学の歴史史料を一通り観るような機会は殆どないことから、多くの参加者の満足度は高く、寧ろもう少し詳細を見聞きしたいという声もある。幸い道路混雑もなく、時間的にはほぼ当初計画の通りに進んだ。今年はバスが１台で済み、しかも松坂理事によるバスガイドが非常に好評であったため、基本的には来年も今年の形式を踏襲できればよい。

来年への改善点としては以下の通り：

・トイレ時間をきちんと取ってほしいという声があるので、それぞれのキャンパスでトイレの位置を案内し、休憩時間をもう少し入れられるようにする。

・地図の中に事務棟の中に何課が入っているかを入れてほしいという声があるので、吹き出しで詳細を入れる。

・より詳細な地図がほしいという声があるので、学生向けの詳しいキャンパスマップも配布資料に入れる。

（文責：山地 弘起）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　松坂 誠應
e-mail：nobuou@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
　主査　入口 忠義
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線2077